

## リアル学校のリーダーズと松本文科大臣 新しい学校のリーダーズと海外展開で意見交換

独自のパフォーマンスや歌で国内外で活躍する4人組ダンス&ボーカルユニット「新しい学校のリーダーズ」が5月25日、松本洋平文部科学大臣と面会し、音楽・アーティストの海外展開について意見交換を行った。冒頭、記念撮影が行われ、メンバーは松本大臣にポーズをレクチャー。笑顔で撮影に応じたほか、「青春日本代表」と書かれた靴下や上履きについて触れる等、和やかにスタートした。



新しい学校のリーダーズと共にポーズを決める松本文科大臣(後列中央)

意見交換では、音楽の海外展開について、メンバーから楽曲制作・リリーススケジュールの柔軟さやライブでの観客の様子の違いについて述べられた。また、松本大臣から「夢を追いかける若者へのメッセージ」を尋ねられると、MIZUYUさんは「自分のときめくもの、信じるものを鮮度の高いうちに発信してほしい」、SUZUKAさんは「デジタルが発展していくと、自分一人で完結してしまいがち。人との関わりやライブなど、言葉にできない体感をたくさん味わってほしい」とエールを述べた。最後に松本大臣は「皆さんの活動をしっかり後押ししていきたい。日本国内、海外でも日本のカルチャーが評価されていると思うので、皆さんの活動、そして日本の魅力を伝えていくことができるように頑張っていきたい」と述べ、活躍に期待を示した。



メンバーからは一般社団法人カルチャーアワードエンタテインメント産業振興会(CIPA)の村松俊亮理事長らも同席し、6月に開催されるMUSIC AWARDS JAPANや、今後国会で議論が行われる見通しの「レコード演奏・伝達権」について説明した。